



特集

未来に向けた まちづくりの 道しるべ

～第2次安来市総合計画「後期基本計画」を策定しました～

将来像
人が集い ^{ひら}未来を拓く
ものづくりと文化のまち

住みよさを実感できる環境を整えることにより、多くの人を安来に迎え、ものづくりの伝統と育まれてきた文化・地域資源を磨き上げ、キラリと光る新たなまちを創造していく決意を込めています。

市では、将来を見据えたまちづくりの指針として、「第2次安来市総合計画後期基本計画」を策定しました。この計画は、総合計画・総合戦略推進会議や市民ワークショップ、市議会からの意見などを踏まえてまとめたものです。今後は、計画に掲げる都市像「人が集い 未来を拓くものづくりと文化のまち」の実現に向けて市民の皆さんと一緒に取組みを進めていきます。

今号では、第2次安来市総合計画後期基本計画の概要を紹介いたします。

総合計画の構成と期間

総合計画は「基本構想」と「基本計画」で構成されています。

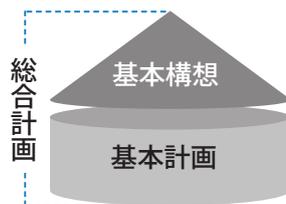
●基本構想・・・10年間で目指す将来像や基本目標、それを実現するための施策の体系を示すものです。

●基本計画・・・基本構想の施策の体系に基づき、計画期間に取り組むべき主要な施策を各分野にわたって定めています。

また、喫緊の課題である人口減少への対応に向

けた目標や施策・事業等を示す「総合戦略」を計画の中の重要な取り組みとして位置づけています（総合戦略の内容は6ページ）。

▶基本構想と基本計画のイメージ図：基本構想に向かって、基本計画に取り入れられている各分野の施策を進めていきます。



H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
基本構想 (10年間)										
前期基本計画 (4年間)					後期基本計画 (6年間)					
第1期総合戦略 (5年間)					第2期総合戦略 (6年間)					

まちづくりに関わる さまざまな役割

市では、まちづくりの総合的指針として平成18年3月に第1次安来市総合計画を策定。その後、平成28年度から令和7年度を期間とする第2次安来市総合計画に取り組んでいます。

今回策定したのは、この第2次計画の後期6年間の計画になります。

総合計画は、市が作成する全ての計画や施策の最上位に位置づけられるもの。また、まちづくりの長期的・基本的な方向性を示すもので、まちづくりの道しるべとも言えます。そして、その役割は大きく次の3つがあります。

1つ目は、市の行財政運営の指針としての役割です。

住民自治を基本とし、目指すべき未来を描き、将来像の実現に向けた取り組みの方向性を示します。

2つ目は、まちづくりのための行動指針としての役割です。まちづくりは、市民と行政が対話を重ね、協力し合う関係を保ちながら進めていく必要があります。そのため、総合計画は、目標を共有する行動指針としての働きがあります。



▲市民ワークショップの様子。

3つ目は、まちづくりの達成状況を測る進行管理のものさしとしての役割です。

総合計画は、将来像実現に向けた取り組みを定めたものです。一方で、その取り組みが計画的に実施されているかを進行管理し、評価するためのものでもあります。目標を明らかにし、達成状況を測ります。

5つの基本理念に 基づいた取り組み

総合計画の将来像の実現に向けて、次に示す5つの基本理念を定めています。この理念に基づいて、引き続き、施策に取り組んでいきます。

5つの基本理念が描くまちの姿
①活力…活動的でいきいきしているまち

②快適…便利で住みよいまち

③らしさ…地域らしさがあり、独自性のあるまち

④つながり…立場をこえて支えあっているまち

⑤安心…不安なく暮らせるまち

重点戦略は人口減少対策

人口減少は、全国的に深刻な課題となっています。安来市も例外ではなく、この課題にはいち早く対応しなければならぬ状況です。

総合計画では、この人口減少対策を「第2期安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、重点戦略に位置づけていきます。

平成27年に策定した安来市人口ビジョンでは、令和7年に3万7千人、令和42年には、人口3万人の維持を将来目標人口としています。

総合戦略では、次の4つの目標を掲げ、

結婚相談
や子育て
で・住
宅支援、



▲今年度開設したマッチングサイトの閲覧ルーム。重点戦略の一つとして、結婚支援の充実を図っています。

ものづくり産業・農林業施策の充実に取り組んでいきます。これにより、人口維持を図り、充実した暮らしができるまちづくりを行っていきます。

●基本目標1…結婚・出産・子育てを支援し、女性の定着を図る

出生数…令和2年〜7年には平均で272人へ（平成30年は241人）

女性の社会増減数…令和2年〜7年には累計で232人の増加へ（平成30年は、101人の減少）

●基本目標2…産業振興により、魅力ある雇用の場を創出する

市内就業者数…令和7年で1万9300人維持へ（平成27年は1万9349人）

●基本目標3…住環境を向上し、市民の定住意識を高める

社会増減数…令和2年〜7年

参画・協働・行財政

一人のできること

▽市民活動等へ参加する
▽地域の魅力などをSNSを通じて発信する

仲間のできること

▽人とのつながりを大切にする
▽チャレンジする仲間を集める



▲SNSでの発信は大きな宣伝効果があります。

自然・環境保全

一人のできること

▽省エネルギー、節電をする
▽ごみの分別・減量化に取り組む

仲間のできること

▽温暖化対策や環境保全活動を行う
▽ごみ集積場の管理、清掃をする



▲ごみを出すときは、きちんと分別を。

都市基盤・生活

一人のできること

▽公共交通を積極的に利用する
▽行政からの情報を受け取る

仲間のできること

▽地域防災の点から耐震化を進める



▲イエローバスは、「安来竹矢線」の運行を開始。

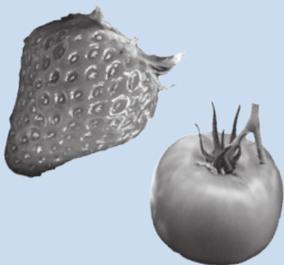
産業・観光・雇用

一人のできること

▽地産地消を進める
▽市内で買い物や食事をする

仲間のできること

▽森林保全活動に取り組む



▲安来にはおいしい農作物がたくさんあります。





▲子どもたちがこの先も住み続けたいと思うような「まちづくり」をしていきます。

には累計で344人の増加へ（平成30年は、171人の減少）
●基本目標4…多種多様な魅力的な地域を形成する
安来市への愛着度…令和7年には70%へ（平成30年は、61.6%）
●広域連携…広域連携による魅力ある圏域づくりを目指す
圏域人口…令和6年10月に60万人維持へ（令和元年10月は、64.4万人）
 圏域人口とは、中海・宍道湖・大山圏域の5市7町村を合算した人口（安来市、米子市、境港市、松江市、出雲市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町）
 問い合わせ先
 定住政策課 ☎23・3060



安来市総合計画・総合戦略推進会議 足立正智会長

市民の皆さんの意見を取り入れた計画に
 第2次総合計画・戦略は、安来市の今後の目指す方向を示す最上位の計画になります。
 どういう目的をもち、どういう方向に進んで行くべきか、人口、商業、農業、工業、健康、福祉と全てにわたってその考えが示されていないければなりません。それを分かりやすく体系づけるために、活力、快適、らしさ、つながり、安心という5つの理念を基に構成しています。
 それぞれの項目に基本的な事業と目標を行政が提示し、それを市民の代表らで検討し訂正を加え、さらにそれを毎年検証していきます。
 今の社会情勢は刻々と変化しており、市民が意見を発していることが求められています。皆様からの総合計画に対する意見も多く寄せられることを期待しています。

私たちができるまちづくり

健康・医療・福祉

一人でできること

▽自身が検診を受け、知り合いにも受診を勧める
 ▽福祉などのボランティア活動に参加する

仲間のできること

▽地域全体で健康づくりを進める
 ▽自治会など地域コミュニティの強化や活性化を図る



▲ボランティアフェスタ。

子育て・教育・文化

一人でできること

▽市の子育て施策を友人等にPR
 ▽生活の中にスポーツを取り入れる

仲間のできること

▽地域住民との交流で子どもが健全に成長できるよう支援する
 ▽食育、国際交流、スポーツなどの地域活動への参加機会をつくる



▲ママさんバレー。

防災・防犯

一人でできること

▽各種訓練、研修に参加し、応急手当の普及啓発に努める

仲間のできること

▽近所の人を見守ったり、地域で防犯灯を設置したりする
 ▽地域の見守りを強化し、相談しやすい環境をつくる



▲小学生の応急救護訓練。